

## 展示替えしました

2013年01月21日

「クリムト 黄金の騎士をめぐる物語」展も残すところ3週間となりました。1月21日月曜日の休館日には紙作品を中心に展示替えを行いました。



紙の作品や染色の布作品は光に弱いこともあって、作品保存の観点から長期間の展示が難しいものです。また、愛知県美術館のあとに長崎や宇都宮へ巡回が予定されているので、全体としての展示状況も考え合わせる必要があります。



近年特に紙素材が中心の日本画の展覧会では会期中に展示替えがあるのはそのような理由からです。次回企画展の「円山応挙展」でも巡回はありませんが、作品によっては展示期間が限られるものもあるようです。



今回の展覧会ではウィーン分離派の機関誌《ヴェル・サクルム》やジャポニズムの関連として屏風や型紙といった紙作品のほか能装束などが出品されており、そうしたものを一日がかりで展示替えをしました。

特に、《ヴェル・サクルム》は開いているページをかえたり、違う号を出したりすることで、見られる図柄が全て入れ替わりました。すでに展覧会をご覧になった方でも、《ヴェル・サクルム》に興味を持たれた方は一度といわず、後期の展示もお見逃しなく！

(S T)